

# さつきが丘公民館だより 令和6年8月号

〒264-0014 千葉県花見川区さつきが丘 1-32-4 Tel 043-250-7967 Fax 043-286-6469

(公民館ホームページ QR コード)

## 8・9月主催事業の募集



### ○ プログラミング体験①②(夏休み子ども教室)



日時 8月22日(木) ①10:00~11:00 ②11:20~12:20

対象 ①小学1~3年生(保護者同伴) ②小学4~6年生 定員 各10人(抽選)

費用 無料 申し込み 窓口、電話、本館ホームページにて

受付 8/6(火)~ 8/12(月) 持ち物 筆記用具、マイバック

### ○ シニアのためのスマホお助け隊(個別相談をうけます)

日時 8月25日(日) 9:00~12:00

対象 60歳以上の方 定員 20人(抽選)

費用 無料 申し込み 窓口、電話、本館ホームページにて

受付 8/8(木)~ 8/14(水) 持ち物 スマートフォン



### ○ 薬剤師と管理栄養士による健康教室「フレイルって何？」

日時 9月20日(金) 13:00~14:00

対象 成人 定員 30人(抽選)

費用 無料 申し込み 窓口、電話、本館ホームページにて

受付 9/5(木)~ 9/11(水)



### ○ あなたもバリスタ! 美味しい珈琲の淹れ方教室

日時 9月29日(日) 10:00~12:00

対象 成人 定員 10人(抽選)

費用 500円 申し込み 窓口、電話、本館ホームページにて

受付 9/11(水)~ 9/17(火) 持ち物 エプロン、三角巾



あつい夏☀️ 予約資料の受取・資料の返却は公民館図書室をご利用ください

千葉県図書館インターネットサービスで予約した際、受取館を「さつきが丘」に指定するとさつきが丘公民館図書室で受け取ることが可能です。

また、千葉県図書館で借りた資料は、公民館図書室で返却ができます。

開室時間は9:45~17:00 図書館が休館である月曜日も開室しています。

近くて便利な公民館図書室をぜひご活用ください。

さつきが丘公民館図書室 ☎043-250-7968

8月の休室日は8月15日(木)です。



## 6・7月 の 活動報告

### ○ 人生 100 年時代のマネープラン「人生設計、マネープランを共に」

60歳の平均余命は男性24年、女性29年、老後時間は人生の約3分の1にあたるといわれています。成人対象の本講座の参加者はセカンドライフあるいはセカンドライフ目の世代が多かったようです。老後生活における経済的基盤を作るためには、家計収支の見直しや資産形成への取り組みなどのマネープランが必須であることなどを真剣な表情で学んでいました。

#### 【参加者の感想より】

・iDeCoとNISAの話はたいへん参考になった。息子や孫たちにも話してみようと思った。  
・話も資料もわかりやすかった。これから年金世代に向かっていくので今から準備を進めていかねばと気持ちをあらたにできた。

### ○ 子育てサロン「七夕」

音楽、手遊び歌、笹飾り作りなどを楽しみました。生後3か月から2歳までの子が一緒に遊びました。帰りには本物の笹飾りのお土産をもらい、嬉しそうにしていました。



#### 【参加した方の感想より】

- ・さまざまな歌を歌ってくれるので、あまり動けない6カ月の息子も楽しめています。
- ・子どもと同年代のお友達に会える機会をつくってくださりありがとうございます。
- ・日本の音楽が楽しめた。折り紙がよかったです。
- ・短冊を書いたり七夕が楽しめた。

### ○ 親子料理教室

7月13日(土)、千葉市社会福祉協議会さつきが丘・宮野木台地区部会、さつきが丘中学校区青少年育成委員会の皆様のご協力を得て、親子料理教室を開催しました。レシピはおにぎらず、トマトミルクゼリー、野菜スープでした。「自分が作ったスープがとてもおいしかった」、「包丁がうまく使えるようになってうれしかった」などの感想があり参加者は楽しく充実した時間を過ごしました。



## さつきが丘 深訪 その3

さつきが丘商店街の入口に壁画があります。いたずら書き防止の意味もあり、さつきが丘中学校にデザインと壁画制作の依頼がきました。長い準備期間を経て、美術部、ボランティアを中心に制作にあたり、平成27年11月22日に完成しました。当日は私も活動に少し参加していました。現在は多少色あせてはいるものの、きれいに残っており、前を通る度にうれしい気持ちになります。(作成の様子は短い動画ですが千葉市公式チャンネルで視聴できます。)壁画のタイトルは「絆」。「絆」は平成23年の「今年の漢字」です。東日本大震災が起こり、つらい経験から私たちは家族や仲間といった、身近な人々との「絆」の大切さをあらためて考えさせられました。かけがえのない大切な人々を想い、その人たちを笑顔にするためには何をすればよいか。そのような生徒たちの気持ちがこもっています。

